

魚津市の水道の話

◎ うおづのうまい水

※モンドセレクション2017最高金賞を受賞しました。



うおづのうまい水は深井戸から汲み上げた水を熱処理した、硬度 48 mg/L の超軟水です。

軟水の効果としては、

- ・体への吸収がよい
- ・胃腸への負担がかからない
- ・老廃物の排出
- ・美肌効果
- ・料理などに使うと風味が増す
等が挙げられます。

料理に使うと旨み、風味、香りを最大限に引き出してくれ、同じ理由でコーヒーや紅茶、

お酒を作る時も軟水の方が美味しく出来上がると言われています。

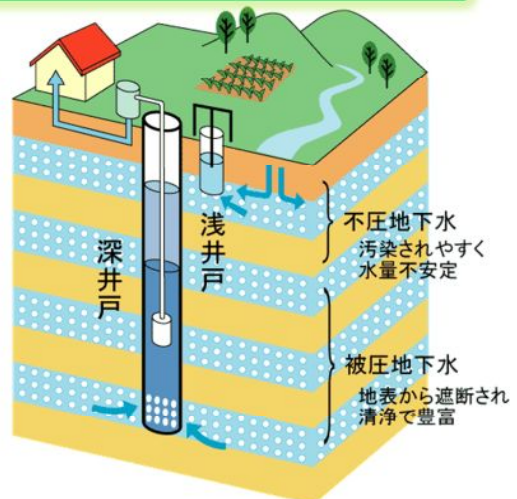
うおづのうまい水は、その売上の一部を水環境保全に活用しています。

◎ 魚津市の水道水

※うおづのうまい水を生んだ良質な伏流水で 100%まかなわれています。

魚津市の水道水は、片貝川沿いの深井戸から汲み上げた水を横枕浄水場で塩素殺菌し、各配水池に送り、そこから配水管を通して各家庭に送っています。

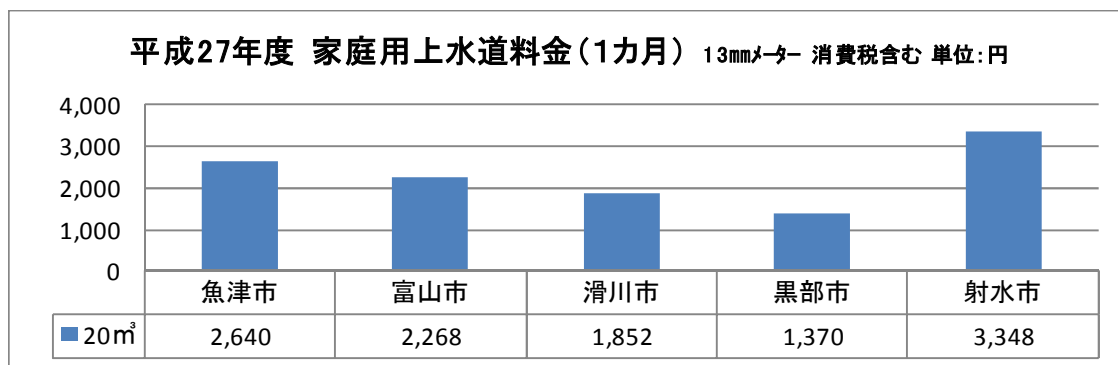
毎月水質検査を行い、安心・安全な水を届けています。



魚津市の水道料金は高いと言われますが・・・

◎ 上水道料金

- ※県内 10 市では、真ん中より安い方です。
- ※しかし、県東部の市の中では高くなっています。

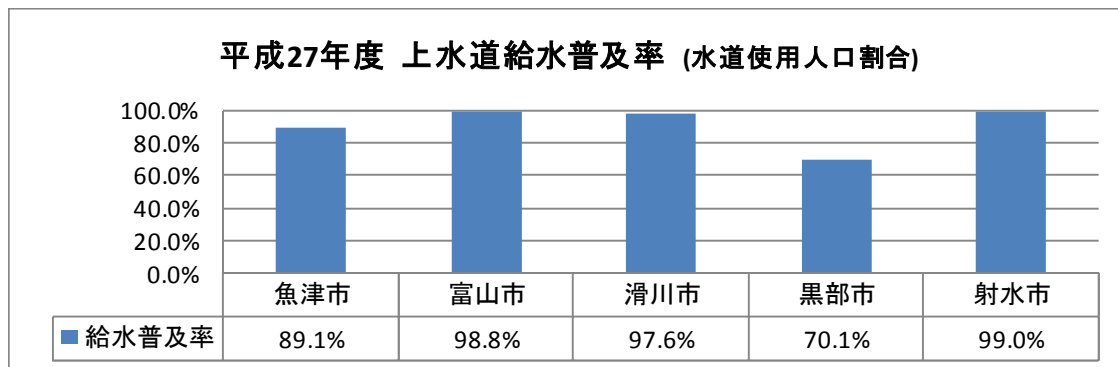


出典：富山県の水道の現況（平成 27 年度）県厚生部生活衛生課

- ※ 平均的な家庭の 1 カ月使用水量は 20 m³で、魚津市では全体の約 70%近くまでがこの水量以下となります。
- ※ 射水市の水道料金は県西部では平均的金額です。ダムの水を受水しているため、その分、県西部の水道料金は高くなっています。

◎ 家庭での水道普及率（人口に対して水道を使用している人の割合）

- ※水道普及率は県内 10 市では 8 番目の低さです。
- ※それは、井戸水利用が多いためです。

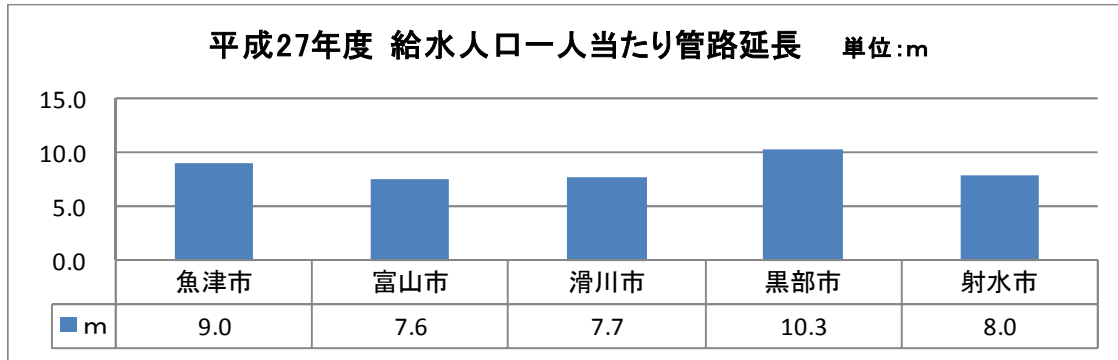


出典：富山県の水道の現況（平成 27 年度）県厚生部生活衛生課

- ※ 家庭での水道普及率（水道使用）が、高い市に比べ 10%程度低くなっています。

◎ 給水人口からみた水道管路延長

※山間部から平野部まで人口がまばらな特徴があり、人口一人当たりの管路延長が長く、施設整備の費用が高くなります。



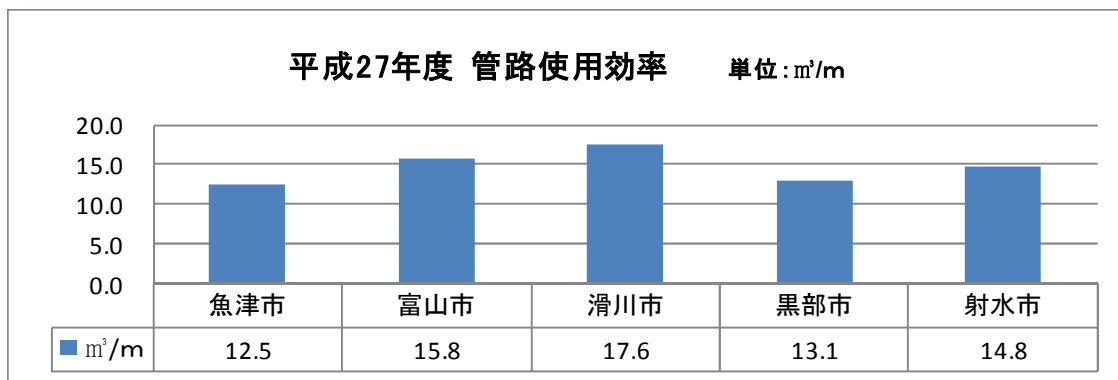
出典：富山県の水道の現況（平成27年度）県厚生部生活衛生課

※ 富山市、滑川市、射水市より一人当たりの管路延長が長く、施設整備の費用が高くなります。

※ 施設整備に費用が掛かれば、水道料金増につながります。

◎ 水道管路使用効率

※工場等での井戸水利用が多いため、水道水の使用量が他市と比べると低くなっています。



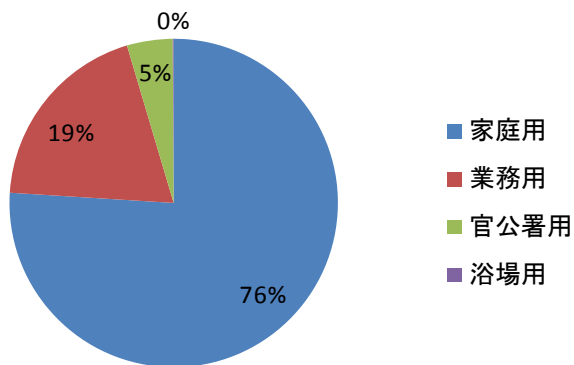
出典：富山県の水道の現況（平成27年度）県厚生部生活衛生課

※ 上のグラフの数値が高い程、効率よく水を使っていることになります。

※ 魚津市では工場等の事業所は、井戸水を使用している場合が多いと推測されます。

※ 他市の場合は、工場等の事業所の使用水量が多く、その水道料金収入が多く入るため、水道料金全体を低く抑えることができると考えられます。

平成28年度 用途別上水道料金割合



※上水道料金収入は、主に家庭用で賄われています。

他市のデータはありませんが、管路使用水量から推察すると他市は魚津市より業務用（工場等の事業所）の割合が高いと考えられます。

◎ 魚津市の上水道料金が県東部の市の中で高く設定されているのは

※ 家庭で井戸水を使っている人が多い。水道を使っている人の割合が高い市に比べて10%程度低い。

※ 工場等の事業所も井戸水利用が多く、大口の水道利用事業所が少ない。

※ 山間部から平野部まで人口がまばらな特徴があり、人口一人当たりの管路延長が長く、施設整備の費用が高つく。

等の理由からです。

何卒ご理解のほどよろしく願いいたします。